

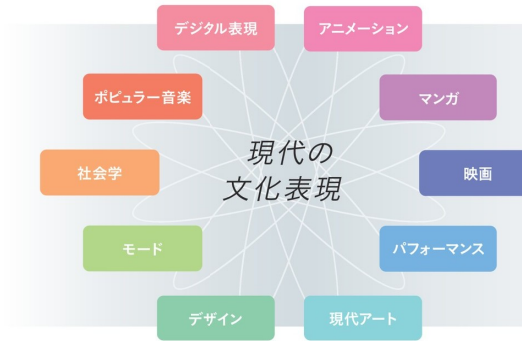
Department of Contemporary Culture and Representation

現代文化表現学科

多様な表現を学び
文化を支え
未来へつなぐ人材に。



Field of study 学びのフィールド



現代のポップカルチャーを
アカデミックに学び、
次世代文化の発展を支える
人材を目指す

Feature 学科の特徴

社会的注目が集まる カルチャーを多角的に学ぶ

「マンガ」「アニメ」「ファッション文化」「舞台」「現代アート」「映画研究」「ポピュラー音楽」「デザイン文化」「文化の社会学」「デジタル表現」という現代を代表する文化表現10分野について学び、作品の実制作を通じて文化表現の理解を深めます。

現代の文化表現に欠かせない 「書く力」を学ぶ

さまざまな作品の意図を読み取り、批評し、言葉として表現する力の獲得を目指し、「メディア」「編集」「情報発信」「批評」の4分野にわたって、必要とされる実践的なライティングスキルを学びます。

研究成果を形にする 卒業論文・卒業研究

幅広い文化表現の中から自分の興味・関心に沿った専門分野を選び、3・4年次でゼミナールを履修します。そして、2年間をかけ専門分野で研究した成果を卒業論文や卒業研究にまとめます。

現代文化表現学科「卒業論文・卒業研究」タイトル(2022年度一部抜粋)

- J-POPの明日を照らす、K-POPの昨日の夢—日本における未熟志向からの脱却願望の考察
- 女子大学生の通学コーディネートの変遷から見る女性の地位の変化
- アダブレーションから見るアニメ監督の作家性—森見登美彦原作の2作を実例に—
- 宝塚歌劇団におけるスターシステムの存在意義
- 風刺画からひも解くSNSと現代社会—どのように人を魅了するの—
- スマートフォンの普及と現代のマンガ表現について
- 自動車の自動運転が生み出す未来—自動運転と考慮されるデザインの変化
- 印象に残る映画音楽に見られる特徴—映画音楽界の巨匠ジョン・ウィリアムズの音楽—
- アイドルファンダムの価値と病理—SNSにおける「広域消費」に着目して

現代文化表現学科
ホームページは
こちら



Curriculum カリキュラムの概要

学びのステップ	1年次	2年次	3年次	4年次
	幅広い分野を学び 多角的な思考力と広い教養を身に付ける		専門的な学びを深め 実践力を高める	専門性を高め、 学びの集大成を表現する
総論	文化表現基礎論 Pick up 現代文化概論 ヴィジュアル・カルチャー概論 現代社会と文化表現 舞台芸術と身体表現 ポピュラーカルチャー概論 現代メディア表現論 デザイン文化論 ファッション文化論 現代アート論		各論 文化表現とテクノロジー 文化表現の倫理 文化創造における伝統と現代 女性と文化表現 文化社会学 アート・プロデュース論 写真論 現代言語表現論 ポピュラー音楽論 映画論	マンガ論 アニメーション論 Pick up 現代建築文化論 スポーツ文化論 コマーシャル表現論 デジタル表現論 現代日本のダンスと演劇 現代日本のアートと批評 現代日本のファッション 現代日本のデザイン
研究入門	現代文化表現学研究入門A 現代文化表現学研究入門B 現代文化表現学研究入門C 現代文化表現学研究入門D 現代文化表現学研究入門E 現代文化表現学研究入門F 現代文化表現学研究入門G 現代文化表現学研究入門H		特殊講義 現代文化表現学特殊講義(イメージ)A 現代文化表現学特殊講義(イメージ)B 現代文化表現学特殊講義(イメージ)C 現代文化表現学特殊講義(身体)A 現代文化表現学特殊講義(身体)B 現代文化表現学特殊講義(身体)C	現代文化表現学特殊講義(ポピュラーカルチャー)A 現代文化表現学特殊講義(ポピュラーカルチャー)B 現代文化表現学特殊講義(ポピュラーカルチャー)C 現代文化表現学特殊講義(社会)A 現代文化表現学特殊講義(社会)B 現代文化表現学特殊講義(社会)C
基礎実習	映像表現基礎実習 デジタル表現基礎実習 マンガ・イラスト制作基礎実習 ブック・デザイン基礎実習	アート&デザイン基礎実習 パフォーマンス基礎実習 写真表現基礎実習	特殊演習 ライティング特殊演習(メディア)A ライティング特殊演習(メディア)B ライティング特殊演習(編集)A ライティング特殊演習(編集)B	ライティング特殊演習(情報発信)A ライティング特殊演習(情報発信)B ライティング特殊演習(批評)A ライティング特殊演習(批評)B
実習	映像表現実習 デジタル表現実習 マンガ・イラスト制作実習	ブック・デザイン実習 パフォーマンス実習 写真表現実習	演習 現代文化表現学演習IA 現代文化表現学演習IB	現代文化表現学演習IIA 現代文化表現学演習IIB
卒業論文	卒業論文・卒業研究		卒業論文・卒業研究	
文学部共通専修科目	【講義】 英語実用文法 レトリック概論 言語学概論	芸術論 造形論 色彩論	装いの心理学 化粧の心理学 図書館概論	【講義】 演劇論 言語哲学 【演習】 情報サービス演習A
【実習】	芸術芸能実習(茶道) 芸術芸能実習(華道) 芸術芸能実習(書道)		朗読法 情報文化史	色彩象徴論 図書・図書館史 コミュニケーション心理学

※このカリキュラムは2023年度現在の教育課程に基づくものです。

Course model 履修モデル

幅広い将来の進路に合わせて、3つの履修モデルを設定しています。

<h3>アート & シアター</h3> <p>アート、映画、演劇などの業界を目指す</p> <p>【履修科目目録】</p> <ul style="list-style-type: none"> 舞台芸術と身体表現 文化創造における伝統と現代 アート・プロデュース論 現代日本のダンスと演劇 映像表現基礎実習 パフォーマンス実習 <p>【映像表現基礎実習】を履修した学生の声 Adobeの動画編集ソフトの使い方を学び、グループで映像作品をつくりました。アイデア出しから撮影、編集まで楽しく体験できて、工夫を重ねて完成した時の達成感も魅力的です。</p>	<h3>デザイン&ファッション</h3> <p>デザイン、ファッションなどの業界を目指す</p> <p>【履修科目目録】</p> <ul style="list-style-type: none"> デザイン文化論 ファッション文化論 女性と文化表現 現代建築文化論 コマーシャル表現論 現代日本のアートと批評 <p>【ファッション文化論】を履修した学生の声 大好きだったファッションについて「もっと学びたい」と思うようになった授業です。ファッションと社会の関係や日本と海外の違いを知り、視野を広げることができました。</p>	<h3>ポピュラーカルチャー</h3> <p>マンガ、アニメ、音楽などの業界を目指す</p> <p>【履修科目目録】</p> <ul style="list-style-type: none"> ヴィジュアル・カルチャー概論 文化表現とテクノロジー ポピュラー音楽論 マンガ論 アニメーション論 デジタル表現実習 <p>【マンガ論】を履修した学生の声 アニメや漫画の作品の傾向、読者や視聴者の傾向から文化の流れや時代背景、時代の移り変わりを読み解く授業です。今まで気づかなかった視点で作品を観ることができました。</p>
---	---	--

Student's Voice 学生の声

多様な表現を知り、学び、

実践することで広がる創作の幅。

自分が本気になれる手法を探求できます。

Y.K. さん

現代文化表現学科3年 埼玉県 県立越谷北高等学校出身

中学は吹奏楽部、高校は演劇部に入るなど、昔から自分で何かを表現することに興味がありました。大学を選ぶ際に、どの表現分野について学ぶか悩んでいた時、母が「ここなら、表現について広く学べそうだよ」と本学科を紹介してくれ、進学を決意。

現在、ポピュラーカルチャーについて研究するゼミに所属しており、音楽表現を中心に、朗読やパフォーマンスなどさまざまな表現について学んでいます。実習ではパソコンのDTMソフトを使ってオリジナルの楽曲を作成したり、あるときは授業の課題で小説を書いたりと多種多様な表現方法に触れることができます。

卒業後の進路はまだ決めていませんが、大学で学んだ幅広い表現の中でも、自分が本気になれるものを見つけて追求したいと考えています。

3年次の時間割(例)

	月	火	水	木	金	土
1限	現代日本のファッション			現代文化表現学演習IA	教育学概論	精神病理学
2限	現代文化実習手帳講義(ポピュラーカルチャー)		色彩検定実習	アート・プロデュース論		
3限	アート&デザイン実習			日本語演習	労働法	
4限	現代文化表現学特殊講義(身体)B					
5限					文化社会学	



Pick up 授業紹介

芸術学の視点から文化表現を分析する

文化表現基礎論

副島 善道 教授【研究分野】美学・芸術学

現代の文化表現作品に学生それぞれが持つ興味と関心を学問のレベルに高め、さらに研究の対象とすることができるよう、この講義は学科1年の春学期に全員必修の科目として開講されます。人それぞれの趣味の問題とされがちな文化を芸術学の視点で分析する方法を修め、さらに造形芸術・音楽芸術・総合芸術の領域の作品にあたりながら、体験的に理解します。

国内外のアニメの歴史を紐解く

アニメーション論

渡邊 大輔 准教授【研究分野】映像文化論・メディア論

3・4年次専門科目として開講されるこの講義では、現代を代表する文化表現の一つであるアニメーションを研究するための基礎的な知識や視点を学びます。ディズニーなどの海外アニメーションから日本独自の「アニメ」まで、それらの歴史と重要作家の紹介、多様な分野ごとの特性などを中心に、作品の鑑賞を織り交ぜながら21世紀の現代まで辿っていきます。